法花

寺報 法蔵
平成27年正月号
発行 長田善生
日光市大桑町270
TEL(21)8220
浄土宗 法蔵寺
開創 627年

新年のご挨拶～法話　一面
法蔵寺の歴史・団体参拝案内　二面
十夜報告・紅葉まつり報告　三面
除夜の鐘案内・よくあるＱ＆Ａ　四面
ご年始案内・住職予定　四面

「命のつながり」を知る

～自分だけの物でない命～

新年明けましておめでとうございます。

多くの檀信徒の方々のお護りを頂き、今年も新年を迎えられたこと、とても有りがたく存じます。深く感謝いたします。

さて先日、ある会合で興味深い話を聞きました。それは、こんな質問から始まりました。

「あなた方は、自分の祖父母のことを知っていますか？名前は？では曾祖父母(そうそふぼ)のことは？名前は？・・・・」

＊　＊　＊　＊　＊

いかがでしょう。どこまで話せるでしょうか。いや、全員の名前を言えますか？

自分でさえ記憶が怪しい。ましてや自身のお子さんやお孫さんはもっとでは無いでしょうか？

その会合では、投げかけられた質問に全て答えられた方は二，三人しかいませんでした。

＊　＊　＊　＊　＊

いま『命のつながり』が注目されています。

私の命は誰から頂いたのか？どこから来たのか？そしてどこへ行けば良いのか？

『命のつながり』を知ることはとても大切です。

『命のつながり』を知ると、自分だけのものでない命を、粗末には出来なくなります。

『命のつながり』は、自分は決して一人ではないと、安心をくれます。

＊　＊　＊　＊　＊

どうしたら『命のつながり』を感じられるでしょう？

その方法は**「先祖参り」**です。

注意したいのは「親参り」ではないこと。仏様は、

・・・親を大切にするのは当たり前、本当に心を手向(たむ)ける先は「先祖」です・・・と教えています。

直接教えを頂いた親に感謝する気持ちは大切です。だからといって親にしか感謝しないと、『命のつながり』は途切れてしまいます。

＊　＊　＊　＊　＊

ある外国の学者さんが、日本の「仏壇(ぶつだん)」についてこう言いました。

『世界に類を見ない素晴らしい文化だ。なぜなら、自宅にいながら、いつでも先祖とつながりを持てるから。日本人の心の豊かさの源はここである。』

＊　＊　＊　＊　＊

「先祖参り」は家でも出来ます。お参りしながら、昔の人の話をすればもっと良いでしょう。

新年の良き機会。遙か昔の自分の命の源に思いを致し、改めて自分の今を、省みてはいかがでしょうか？

今年も、皆さまのご理解とご協力のもと、歴史ある法蔵寺を、皆様の祖先の御霊を護って行きたいと思います。皆様のご多幸を願います。合掌

法蔵寺第28世住職